

来年度より Moodle のバージョンアップに伴った eALPS の新バージョンの運用を予定しています。今号では、eALPS の新バージョン情報の第一弾をお届けいたします。

また、eALPS 活用実践事例では、eALPS の機能を活用し学生の授業への出席状況を把握していらっしゃる先生方の事例をご紹介します。

contents

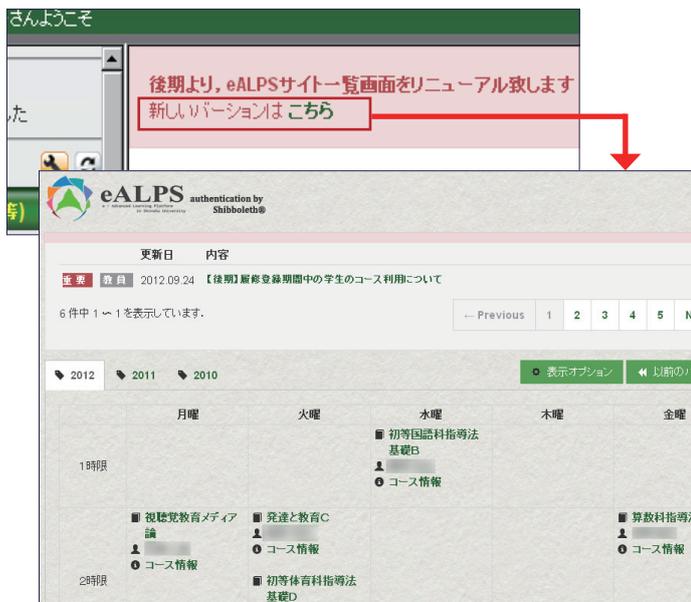
e-Learning center newsletter No.10

■ eALPS 新バージョン情報 第一弾	1
■ e-Learning センター障害情報 (お詫び)	1
■ 続 eALPS 活用実践事例	2
■ Information 講習会情報	2

eALPS 新バージョン情報 第一弾

サイト一覧のトップ画面がさらに使いやすく！

来年度より、eALPS がバージョンアップされる予定です。その準備として、後期よりテスト運用を行っています。既にご利用の方もおいでかと思われますが、トップ画面の「新しいバージョンはこちら」よりお試しいただけますので、是非一度ご覧ください。



1. マイコースが時間割形式で表示され、コース選択が便利になります。

2. [以前のバージョン] ボタンをクリックすれば、今までの表示での利用が可能です。

3. [表示オプション] ボタンから「前期」「後期」「通年」を選択することで表示科目を指定できます。



今後も順次、バージョンアップ情報をご案内していく予定です。また、ご不明な点等がありましたら e-Learning センターまでお問い合わせください。

引き続き eALPS の運用にご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

e-Learning センター障害情報 (お詫び)

eALPS をご利用いただいている皆様には、8月、10月と多大なるご迷惑とご心配をおかけし誠に申し訳ございませんでした。関係者一同、深くお詫び申し上げます。

8月12日、eALPS 基幹システムに重大な障害が発生しました。現在は復旧作業を完了し運用を再開しています。また、バックアップデータからシステム復旧を行いましたため、8月12日の5:30～18:00の間にアップロードされた「教材コンテンツ」および「学生の提出したレポート」のデータが消えてしまっている可能性があります。

お手数をお掛けしますが、今一度ファイルの確認をお願いします。万が一、ファイルが消えてしまっている場合には、該当の学生に対し再提出等のご指示をお願いします。なお、その他に「授業がマイコースに表示されなくなった」「ロールの割り当て機能で追加した学生やTA等が反映されていない」等、障害がありましたらご連絡をお願いいたします。

10月15日、22日に断続的に eALPS の障害が発生しました。現在は異常のあったファイルサーバを入れ替え、運用を再開しております。

eALPS が一時停止し大変ご迷惑をおかけいたしました。データ等への影響はありません。

特集 続 eALPS 活用実践事例

事例 7 eALPS の機能を使って学生の授業出席状況を把握

学生の授業出席状況の把握は、受講生の人数が多いほど、教員への負担も大きくなります。そこで eALPS の機能をうまく活用していらっしゃる先生方の事例をご紹介します。

小テスト機能を利用

情報提供：教育学部教育科学講座 教授 田中敏
【道德教育の理論と実践 C】受講生 183 名

この授業では eALPS の小テストの公開日時、終了日時、ネットワークアドレス、パスワードの設定機能を応用して、出席状況の把握に活用しています。教員は各講義の最後に「出席課題」を提示し、学生は eALPS より回答します。この回答により出席していたことが分かります。

学生が課題を提出できるのは、教育学部構内からのみとし、場所と投稿時間を制限しています。投稿したら評点に「1」を与えます。

教員はトップ画面の [管理] → [評定] から、そのコースに登録されている学生の評点（出席回数）を閲覧することができます。投稿された回答内容は、授業の感想、学生の経験や意識調査にも利用されています。

【田中先生のコメント】

授業に出席していない学生のチェックが簡単にできるようになり、講義形態の授業で TA をお願いしていたのが、eALPS の利用で必要なくなりました。

フォーラム機能を利用

情報提供：教育学部教育科学講座 教授 伏木久始
【教育課程概論】受講生 78 名

この授業は、グループ・ディスカッションを中心に行われている授業です。出席状況の把握のため、フォーラム機能を活用して、授業の感想を投稿させることを必須課題としています。

フォーラムは『学生が授業の振り返りができる』『受講生同士が読み合うことで自分の考えを相対化できる』『教員が授業内容を理解していない学生を把握し、授業改善に活かせる』という 3 つのコンセプトで活用されています。

4 日本の教育課程の諸問題 10/11

授業の感想など

セクション	フォーラム	説明	ディスカッション
1	【登録】自分が何班かをフォーラムで明示して下さい	10/4の授業の課題です。出席確認を兼ねますので必ず入力してください。	70
4	授業の感想	出欠席を兼ねています。	63

フォーラム投稿件数の確認画面

【伏木先生のコメント】

フォーラムに投稿された内容はコース登録者全員が閲覧でき、さらにメールでも読めるので、授業時間外でも、ディスカッショングループの他の学生の意見を共有することで、授業への参加意欲にもつながっています。教員が 80 名近い受講生一人一人をケアするのはとても難しいですが、eALPS へのアクセス履歴や投稿されたログ等を合わせてみることで、学生の生活スタイルや、授業への参加態度等を分析することができ、ケアが必要だと思われる学生には授業中に注意を払うようにしています。



全キャンパスで講習会を随時行います！

全キャンパスで高等教育研究センターとの共催による FD 講習会を開催予定です。FD としての位置づけにもなり、修了証も発行されますので是非ご参加ください。なお、10月24日、教育学部で新任教員向け eALPS 説明会も開催されました。

「教育における ICT 活用に関する FD 講習会」

日時 2012年11月29日 14:40～16:10
場所 繊維学部 32 講義室
内容 ・授業の質を高める eALPS 活用事例
・eALPS 新バージョンの紹介